

令和4年産(3年播)麦生育情報 No.5 (R4.4.7)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は5月中旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成24～令和3年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
	2月	全般	低い	平年並
3月	上旬	低い	やや多い	かなり少ない
	中旬	かなり高い	平年並	平年並
	下旬	やや高い	少ない	やや少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
 降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査(11月5日播種、3月30日調査時点)では、「農林61号」「ふくさやか」「びわほなみ」の莖数は平年より7～26%少なく、草丈は4～20%短い。葉数は「農林61号」は0.1枚多く、「ふくさやか」は0.3枚多く、「びわほなみ」は0.1枚多い。「びわほなみ」では、止葉出葉期を迎えており、止葉がすでに展開している個体も見られる(表1、後掲グラフ)。

表1 令和4年産(3年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	3/16 調査			3/31 調査		
		莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
農林61号	R4年産 (平年比)	628 (90)	30.4 (87)	7.8 (+0.1)	536 (83)	49.8 (96)	8.8 (+0.1)
	平年値	696	35.0	7.7	649	51.7	8.7
ふくさやか	R4年産 (平年比)	532 (82)	29.0 (80)	8.1 (+0.3)	452 (74)	50.0 (93)	9.0 (+0.3)
	平年値	647	36.4	7.8	610	53.9	8.7
びわほなみ	R4年産 (平年比)	752 (91)	30.8 (71)	8.0 (-0.3)	694 (93)	48.1 (80)	9.1 (+0.1)
	平年値	828	43.6	8.3	748	60.5	9.0

※播種日は、令和3年11月5日。

※平年は平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は平成28,30年～令和3年産(平成27,29年～令和2年播)の5年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、播種量は8kg/10a。

表2 麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期（4月6日時点）

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

基準 播種日	農林61号				ふくさやか				びわほなみ				ニューサチホ ゴールドデン		ファイバー スノウ	
	11/5		11/20		11/5		11/20		11/5		11/20		11/5		11/5	
産年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年	R4	平年
出穂期 平年差	未	4/15	未	4/22	未	4/11	未	4/20	未	4/6	未	4/15	4/4 15日遅	3/20	未	4/15
開花期 平年差	未	4/25	未	4/30	未	4/23	未	4/28	未	4/19	未	4/24	—	—	未	4/22
成熟期 平年差	未	6/4	未	6/7	未	6/1	未	6/3	未	5/29	未	6/3	未	5/12	未	5/26

※平年は、「農林61号」「ふくさやか」「ファイバースノウ」は10年間（2012～2021年産）、「びわほなみ」は11/5播種が6年間（2016～2021年産）、11/20播種が5年間（2016、2018～2021年産）、「ニューサチホゴールドデン」は2年間（2020～2021年産）の平均値。

☆ 3月30日現在の小麦の生育状況（農技センター作況調査）



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 麦類の生育量は全体的に平年より小さく、11月上旬に播種した小麦は止葉出葉期を迎えている。
- 早めに出穂期、開花期を確認し、実肥施用や赤かび病防除が適期に行えるように注意する。

3 今後の管理

(1) 排水対策

- 排水不良は、根の伸長を妨げ、登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまる場合には溝さらえを行うなど速やかに排水するよう、**引き続き徹底した排水促進**に努める。

(2) 小麦の実肥施用

- 小麦の実肥施用は、**開花期（平年の出穂期では出穂10日後頃）**に行う。
- 実肥は、**窒素成分で3～4 kg/10a** 施用する。ただし、**茎数の少ないほ場（約300本/m²以下）**では、**2～3 kg/10a** に減らす。
- 3月下旬～4月上旬に葉色が淡く茎数が少ない場合は、**収量を向上させるために出穂7日前（走り穂が出る直前頃）に窒素成分で2 kg/10a程度追肥し、さらに出穂10日後（開花期）に2～4 kg/10aの実肥を施用する。**

(3) 赤かび病防除

- 小麦
 - ・「**びわほなみ**」は、**開花始め～開花期（平年の出穂期では出穂5～10日後頃）とその1週間後の2回防除**を必ず行う。
 - ・「**びわほなみ**」以外の小麦は、**開花始め～開花期**に行う。
- 大麦
 - ・二条大麦では穂揃い10日後頃に農薬を散布する。散布後降雨が続く場合は、追加防除を行う。
 - ・六条大麦では開花始め～開花期とその1週間後に農薬を散布する。
- 薬剤散布後、降雨が続く場合は、直前の散布1週間後に追加防除を行う。

（実肥施用、赤かび病防除における留意点）

- 小麦の出穂期や開花期は気温によって変動するため、**出穂期、開花期の確認を早めに行い、実肥や防除が適期に行えるようにする。**
- 出穂が始まってから低温になると開花が遅れるので、赤かび病防除は開花を確認してから実施する。**

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

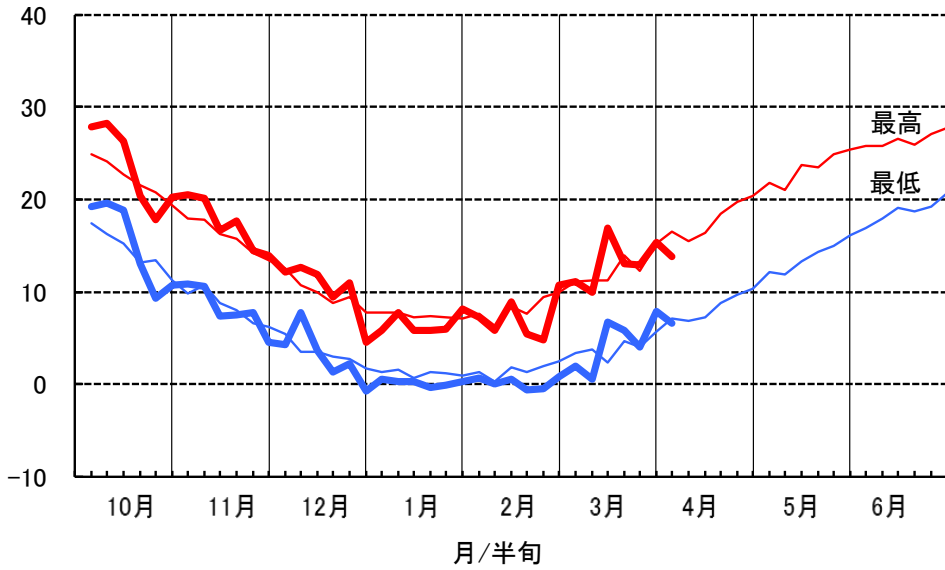
病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

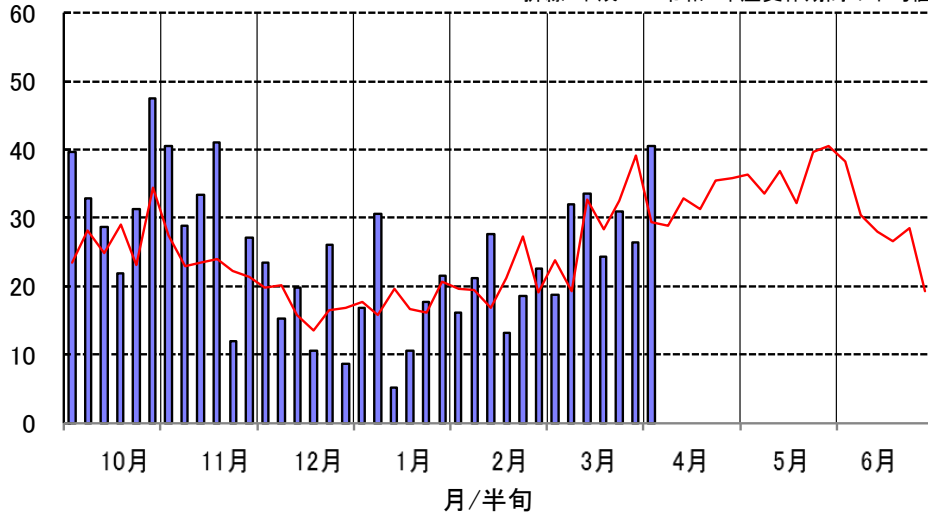
令和4年産(令和3年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和4年産) 折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



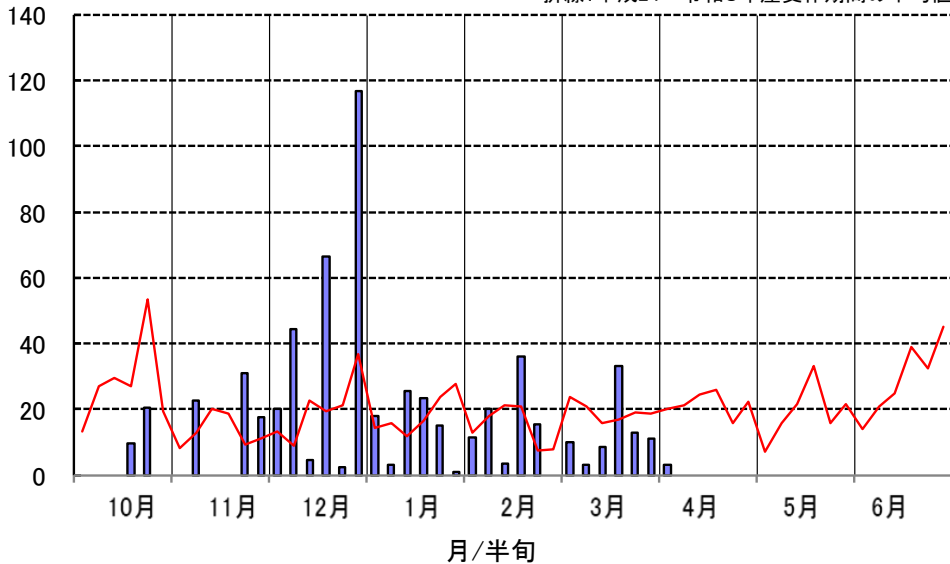
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和4年産)
折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

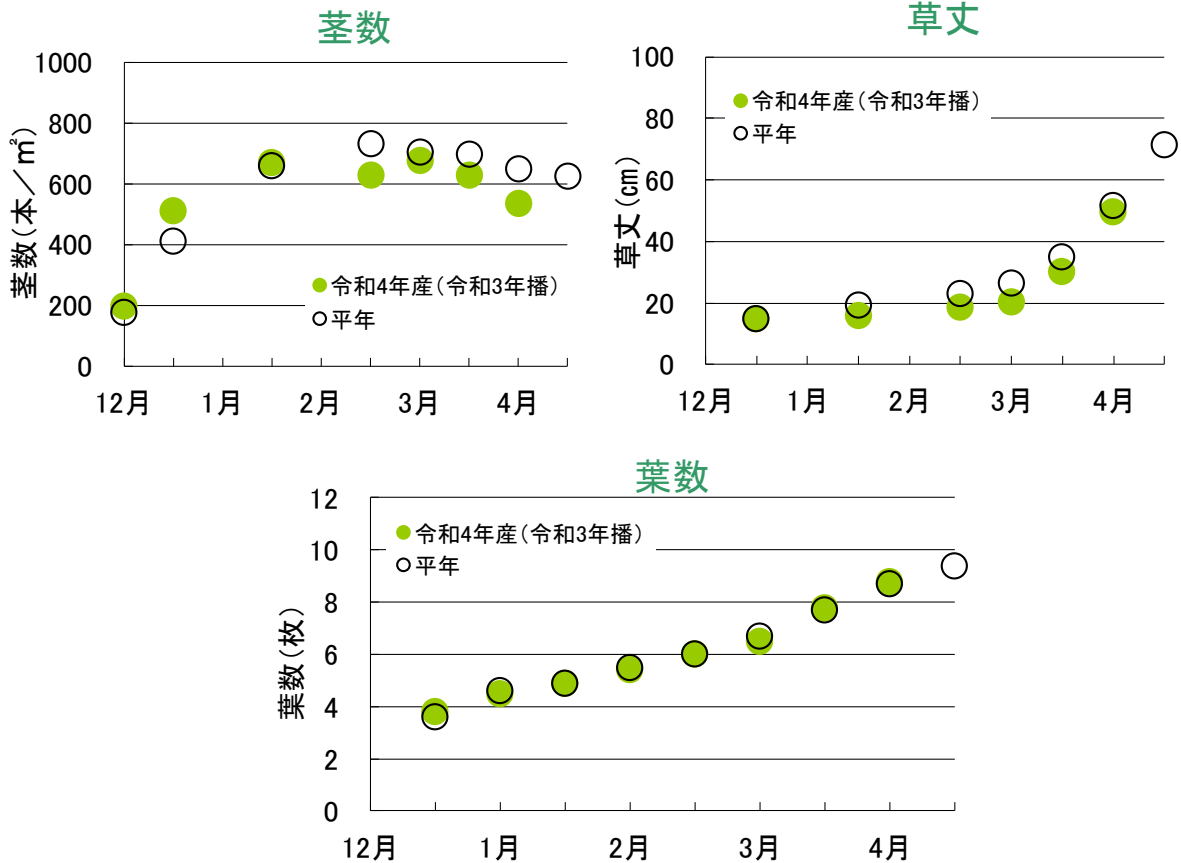
棒線: 本年(令和4年産)
折線: 平成24~令和3年産麦作期間の平均値



令和4年産生育調査結果(1)

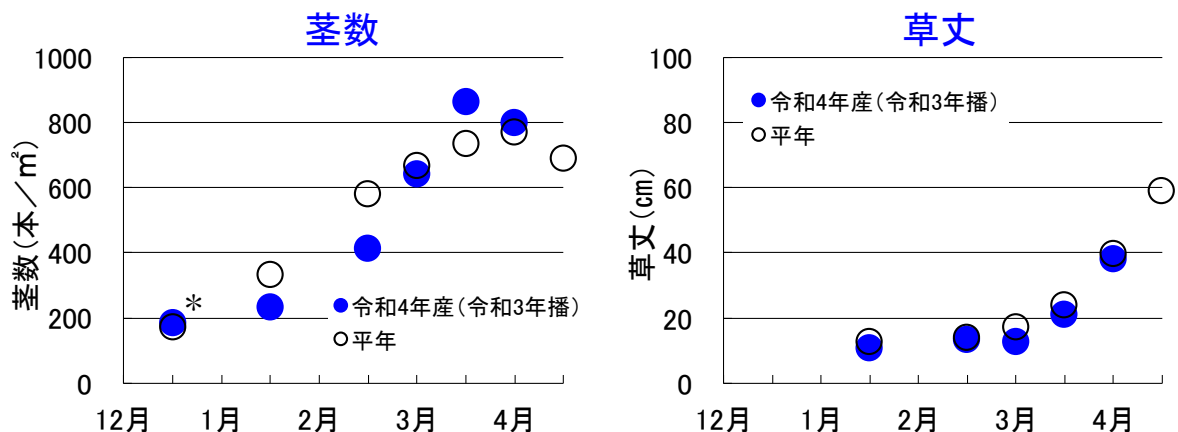
「農林61号」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



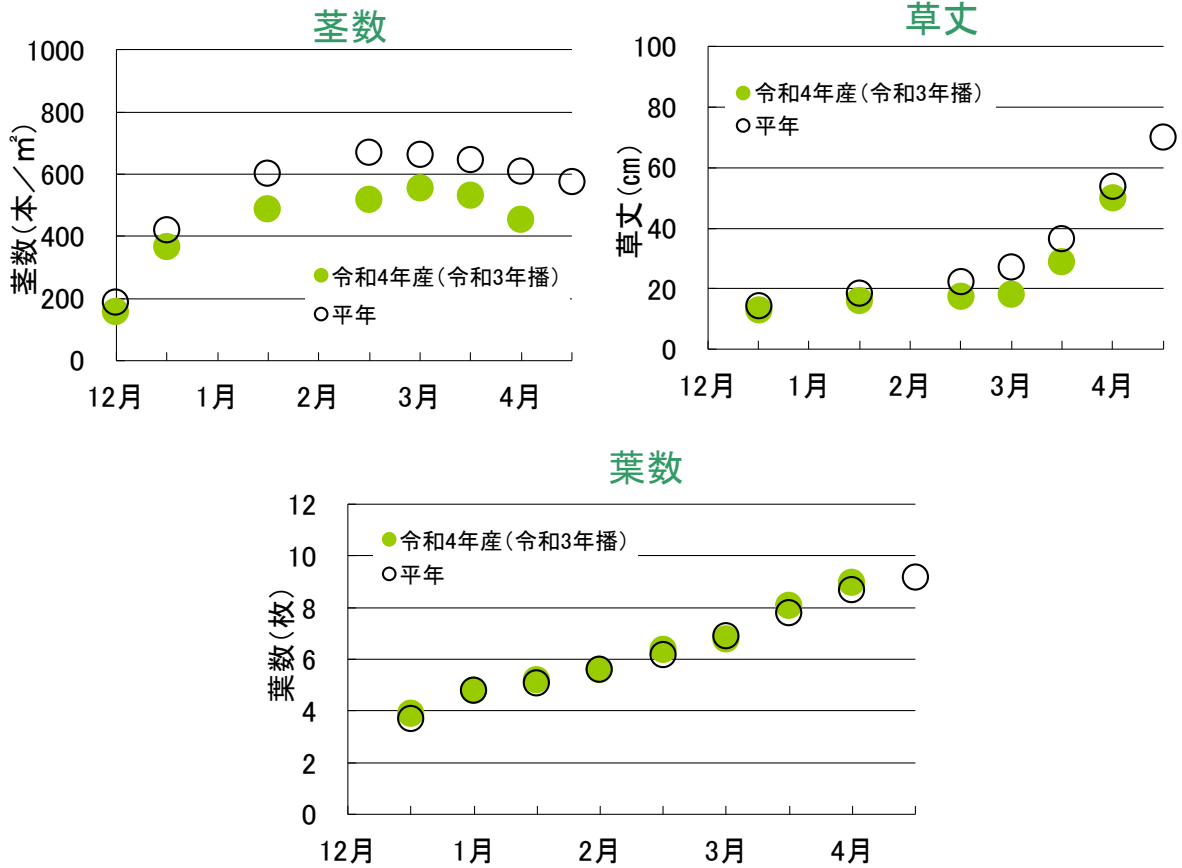
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(2)

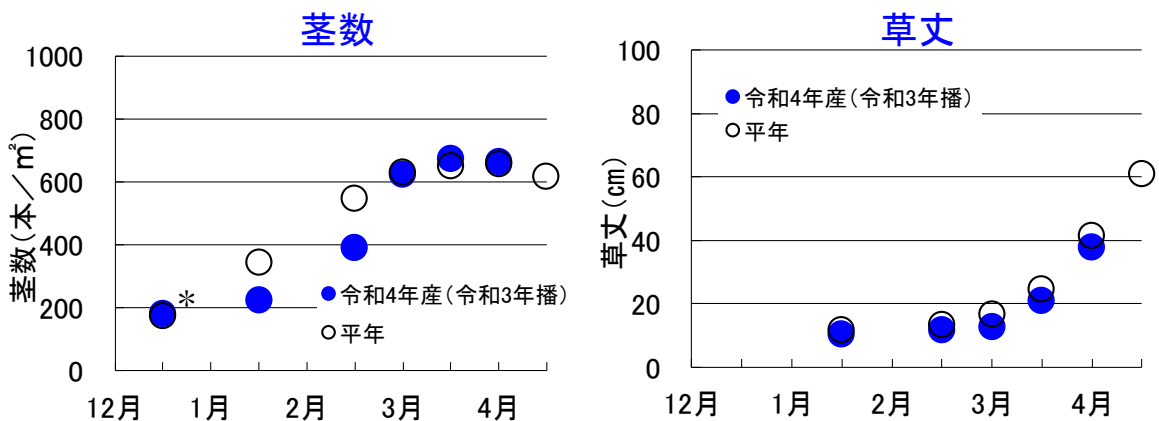
「ふくさやか」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



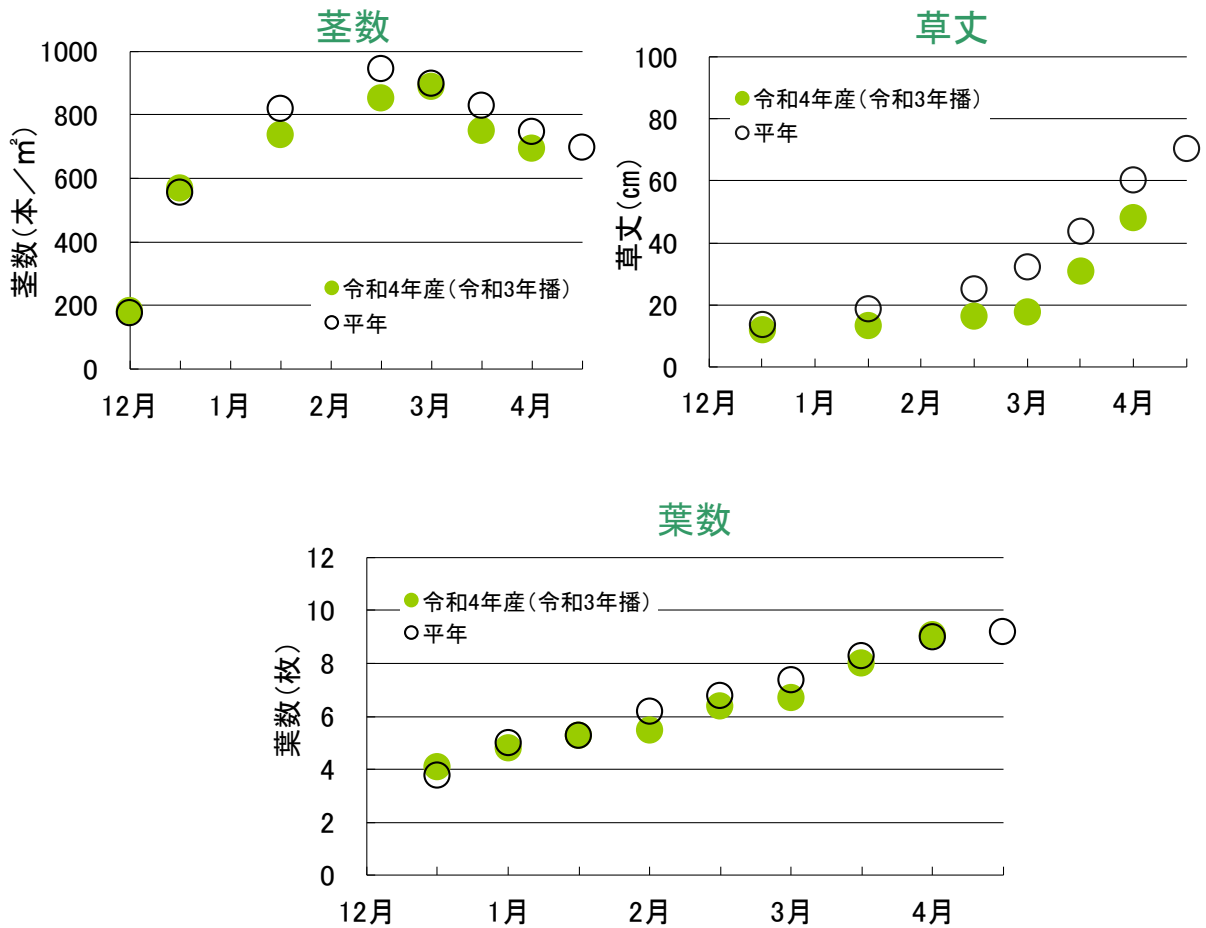
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和3年産(平成23～令和2年播)の10年間の平均値。

令和4年産生育調査結果(3)

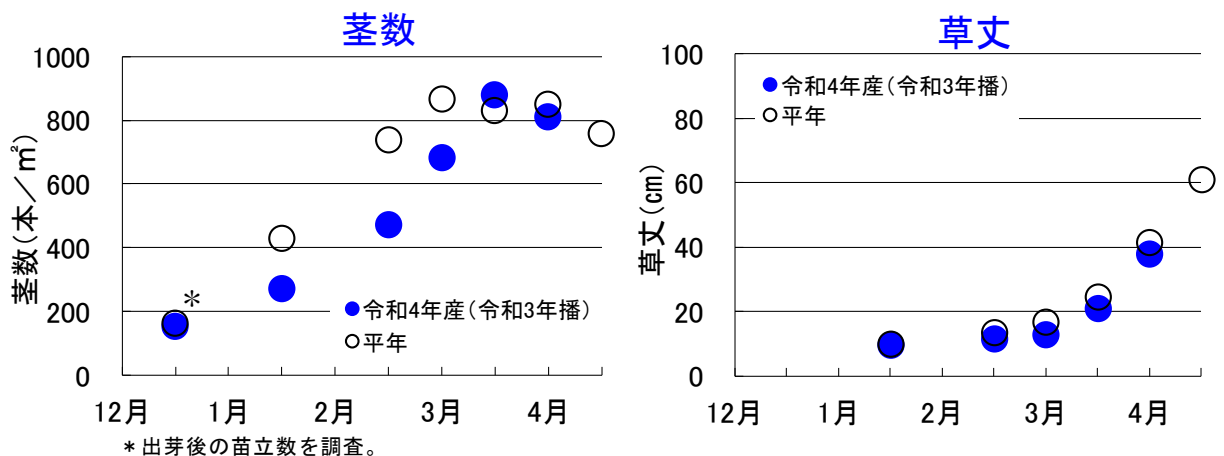
「びわほなみ」

令和3年11月5日播



(参考)

令和3年11月19日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和3年産(平成27,29～令和2年播)の5年間の平均値。